

2015年度入学時アンケートの結果（報告）

IRセンター／FD委員会

I. アンケートの概要

2015年5月～6月に1年生を対象にユニパのアンケート機能を用いて実施した。アンケートは、回答者の属性、東北福祉大学入学前に重視した内容についての項目、高大連携プログラムに関する項目、入学前教育に関する項目、大学・学部学科が掲げる3つのポリシーについての項目、大学の情報発信メディアに関する項目、学部・学科の志望順位に関する項目、入学後の不安内容についての項目、入学後の生活上の不安についての項目、学内の相談相手についての項目、卒業後の希望進路についての項目により構成されている。712名の回答が得られた（回答率49.9%）。

II. 全体の傾向

1. 回答者の属性

回答者の総数と学科構成に加えて、性別・入試形態・居住形態を表1-1、アルバイト・ボランティア・奨学金の利用について表1-2、部活動及びサークルの加入状況を表1-3に示す。

表1-1 回答者の属性(1)

	人数	性別		入試				居住形態	
		男性	女性	AO	推薦	一般	センター	自宅	自宅以外
全学	712	278	434	46	208	362	96	367	345
	%	39.00%	61.00%	6.50%	29.20%	50.80%	13.50%	51.50%	48.50%
社会福祉学科	247	105	142	19	76	105	47	116	131
	%	42.50%	57.50%	7.70%	30.80%	42.50%	19.00%	47.00%	53.00%
福祉行政学科	87	60	27	1	18	51	17	50	37
	%	69.00%	31.00%	1.10%	20.70%	58.60%	19.50%	57.50%	42.50%
福祉心理学科	113	16	97	12	43	52	6	57	56
	%	14.20%	85.80%	10.60%	38.10%	46.00%	5.30%	50.40%	49.60%
産業福祉マネジメント学科	25	14	11	1	8	15	1	16	9
	%	56.00%	44.00%	4.00%	32.00%	60.00%	4.00%	64.00%	36.00%
情報福祉マネジメント学科	14	9	5	1	4	8	1	9	5
	%	64.30%	35.70%	7.10%	28.60%	57.10%	7.10%	64.30%	35.70%
教育学科	79	27	52	3	23	52	1	34	45
	%	34.20%	65.80%	3.80%	29.10%	65.80%	1.30%	43.00%	57.00%
保健看護学科	45	7	38	4	12	24	5	28	17
	%	15.60%	84.40%	8.90%	26.70%	53.30%	11.10%	62.20%	37.80%
リハビリテーション学科	66	33	33	3	18	36	9	34	32
	%	50.00%	50.00%	4.50%	27.30%	54.50%	13.60%	51.50%	48.50%
医療経営管理学科	36	7	29	2	6	19	9	23	13
	%	19.40%	80.60%	5.60%	16.70%	52.80%	25.00%	63.90%	36.10%

表1-2 回答者の属性(2)

	人数	アルバイト			ボランティア		奨学金の利用		
		している	これから	していない	する(予定)	しない	あり(予定)	なし	
全学	度数 %	712	222 31.20%	413 58.00%	77 10.80%	607 85.30%	105 14.70%	403 56.60%	309 43.40%
社会福祉学科	度数 %	247	60 24.30%	168 68.00%	19 7.70%	215 87.00%	32 13.00%	134 54.30%	113 45.70%
福祉行政学科	度数 %	87	34 39.10%	49 56.30%	4 4.60%	77 88.50%	10 11.50%	56 64.40%	31 35.60%
福祉心理学科	度数 %	113	48 42.50%	61 54.00%	4 3.50%	102 90.30%	11 9.70%	61 54.00%	52 46.00%
産業福祉マネジメント学科	度数 %	25	9 36.00%	13 52.00%	3 12.00%	16 64.00%	9 36.00%	18 72.00%	7 28.00%
情報福祉マネジメント学科	度数 %	14	3 21.40%	10 71.40%	1 7.10%	10 71.40%	4 28.60%	7 50.00%	7 50.00%
教育学科	度数 %	79	21 26.60%	54 68.40%	4 5.10%	75 94.90%	4 5.10%	49 62.00%	30 38.00%
保健看護学科	度数 %	45	20 44.40%	13 28.90%	12 26.70%	45 100%	0 0.00%	29 64.40%	16 35.60%
リハビリテーション学科	度数 %	66	13 19.70%	32 48.50%	21 31.80%	41 62.10%	25 37.90%	29 43.90%	37 56.10%
医療経営管理学科	度数 %	36	14 38.90%	13 36.10%	9 25.00%	26 72.20%	10 27.80%	20 55.60%	16 44.40%

表1-3 回答者の属性(3)

	人数	部活動・サークル								
		加入せず	同好会のみ	文化会のみ	文化会と同好会	体育会のみ	体育会と同好会	体育会と文化会	体育会・文化会・同好会	
全学	度数 %	712	77 10.80%	194 27.20%	269 37.80%	32 4.50%	89 12.50%	4 0.60%	43 6.00%	4 0.60%
社会福祉学科	度数 %	247	21 8.50%	55 22.30%	105 42.50%	11 4.50%	37 15.00%	4 1.60%	12 4.90%	2 0.80%
福祉行政学科	度数 %	87	8 9.20%	29 33.30%	21 24.10%	5 5.70%	17 19.50%	0 0.00%	7 8.00%	0 0.00%
福祉心理学科	度数 %	113	16 14.20%	19 16.80%	54 47.80%	6 5.30%	8 7.10%	0 0.00%	9 8.00%	1 0.90%
産業福祉マネジメント学科	度数 %	25	2 8.00%	9 36.00%	7 28.00%	0 0.00%	6 24.00%	0 0.00%	1 4.00%	0 0.00%
情報福祉マネジメント学科	度数 %	14	2 14.30%	1 7.10%	7 50.00%	0 0.00%	2 14.30%	0 0.00%	2 14.30%	0 0.00%
教育学科	度数 %	79	4 5.10%	21 26.60%	33 41.80%	7 8.90%	8 10.10%	0 0.00%	6 7.60%	0 0.00%
保健看護学科	度数 %	45	2 4.40%	18 40.00%	17 37.80%	3 6.70%	1 2.20%	0 0.00%	3 6.70%	1 2.20%
リハビリテーション学科	度数 %	66	16 24.20%	31 47.00%	9 13.60%	0 0.00%	8 12.10%	0 0.00%	2 3.00%	0 0.00%
医療経営管理学科	度数 %	36	6 16.70%	11 30.60%	16 44.40%	0 0.00%	2 5.60%	0 0.00%	1 2.80%	0 0.00%

2. 入学前の重視事項

以下に示す34項目に対して入学前に重視した程度を聞いた(とても重要だった～まったく重要ではなかったまでの4件法)。ただし、項目が示す内容をそもそも経験しておらず回答不能となる場合も想定し、「経験していない」ことを示す項目も付加した。各項目の度数分布を表2-1に示す。そして未経験者をのぞいた上での4段階評価の記述統計を表2-2に示す。表2-2における平均値は、得点が高いほど重視していたことを示す。

表2-1 入学前の重視事項、度数分布

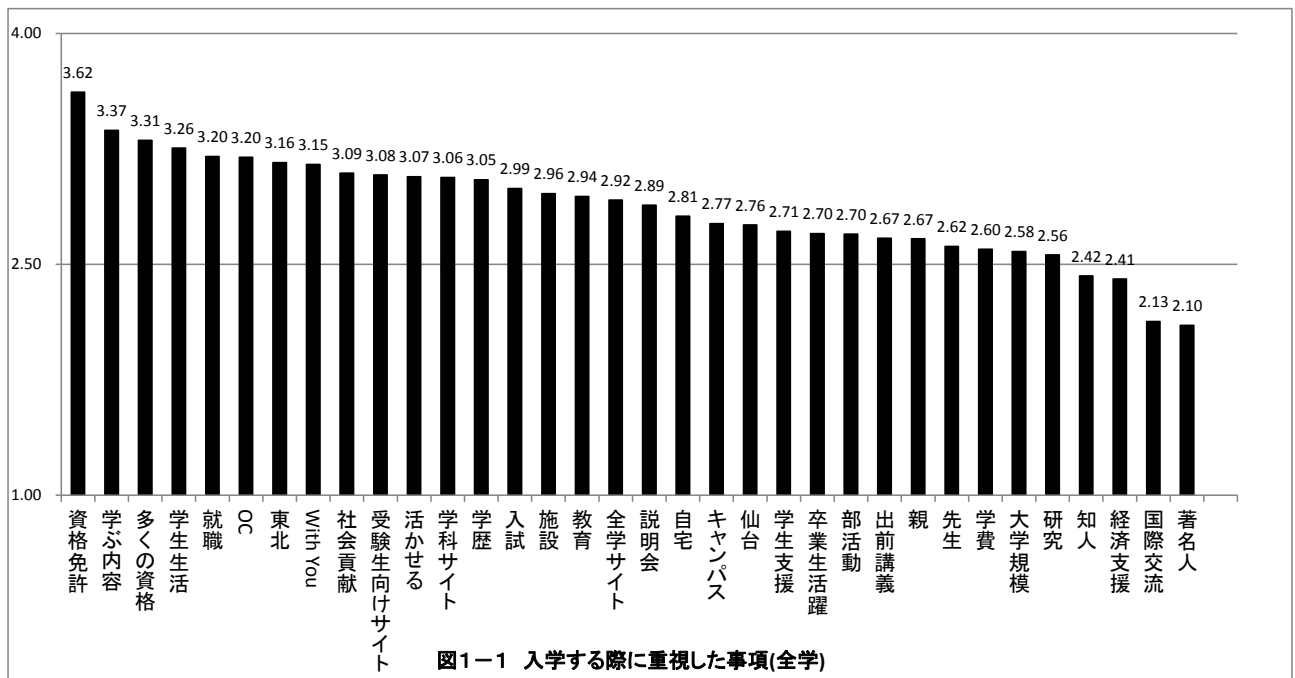
項目内容	とても重要	少し重要	あまり重要でない	まったく重要でない	そういうことはなかった
1.親に勧められた	84	208	175	39	206
	11.80	29.20	24.60	5.50	28.90
2.高校または予備校の先生に勧められた	72	169	169	37	265
	10.10	23.70	23.70	5.20	37.20
3.親と高校の先生以外の知人に勧められた	40	128	171	45	328
	5.60	18.00	24.00	6.30	46.10
4.学生生活を楽しむことができそうと思った	273	302	79	12	46
	38.30	42.40	11.10	1.70	6.50
5.大卒の学歴を得たいと考え、東北福祉大学では得られると思った	206	302	129	22	53
	28.90	42.40	18.10	3.10	7.40
6.希望する専門的資格・免許等を取得することができると思った	489	155	48	5	15
	68.70	21.80	6.70	0.70	2.10
7.多くの資格・免許等を取得できると思った	322	256	83	16	35
	45.20	36.00	11.70	2.20	4.90
8.東北にある大学で、親しみや安心感があると思った	238	304	98	17	55
	33.40	42.70	13.80	2.40	7.70
9.「社の都」「学都」といわれる仙台にあり、その中でも閑静な環境で交通アクセスもよく、立地環境がよいと思った	130	247	202	39	94
	18.30	34.70	28.40	5.50	13.20
10.自宅から通学でき、通学の利便性がよいと思った	153	151	138	54	216
	21.50	21.20	19.40	7.60	30.30
11.経済的支援(授業料減免、奨学金制度など)が充実していると思った	64	155	261	63	169
	9.00	21.80	36.70	8.80	23.70
12.学費がほぼ平均の額で許容範囲と思った	81	227	204	52	148
	11.40	31.90	28.70	7.30	20.80
13.卒業生の就職率や就職先がよかった	258	305	89	17	43
	36.20	42.80	12.50	2.40	6.00
14.東北福祉大学の付属施設が充実していると思った	193	248	181	19	71
	27.10	34.80	25.40	2.70	10.00
15.東北福祉大学で学ぶ内容に興味があった	327	283	63	6	33
	45.90	39.70	8.80	0.80	4.60
16.東北福祉大学の研究に魅力を感じた	72	247	261	42	90
	10.10	34.70	36.70	5.90	12.60
17.東北福祉大学の教育に魅力を感じた	161	313	161	19	58
	22.60	44.00	22.60	2.70	8.10
18.東北福祉大学の社会貢献・地域貢献の活動(ボランティア活動を含む)に魅力を感じた	231	276	143	13	49
	32.40	38.80	20.10	1.80	6.90
19.有名人・著名人などが出ている大学に魅力を感じた	32	111	288	118	163
	4.50	15.60	40.40	16.60	22.90
20.東北福祉大学の留学や海外研修・海外インターンシップ・海外ボランティア活動、国際交流に魅力を感じた	33	112	299	107	161
	4.60	15.70	42.00	15.00	22.60
21.東北福祉大学の学生支援・学生サービスが充実していると思った	105	280	217	35	75
	14.70	39.30	30.50	4.90	10.50
22.東北福祉大学の部・サークルに魅力を感じた	129	230	213	53	87
	18.10	32.30	29.90	7.40	12.20
23.卒業生が仕事で活躍している大学に魅力を感じた	112	245	233	33	89
	15.70	34.40	32.70	4.60	12.50
24.東北福祉大学のキャンパス・景観に魅力を感じた	120	276	202	33	81
	16.90	38.80	28.40	4.60	11.40
25.東北福祉大学の規模(学生数やキャンパスの広さ等)が学ぶのにちょうどよいと思った	85	232	253	44	98
	11.90	32.60	35.50	6.20	13.80
26.東北福祉大学は自分の志や能力を生かせる大学だと思った	208	308	132	15	49
	29.20	43.30	18.50	2.10	6.90
27.受験の際に入試科目や入試形態が自分に合っていると思った	213	253	164	27	55
	29.90	35.50	23.00	3.80	7.70
28.東北福祉大学の受験生向けサイト「With You +」を見て興味や魅力を感じた	218	289	110	28	67
	30.60	40.60	15.40	3.90	9.40
29.東北福祉大学の学科のサイトを見て興味や魅力を感じた	204	304	120	21	63
	28.70	42.70	16.90	2.90	8.80
30.東北福祉大学の全学のサイトを見て興味や魅力を感じた	155	301	161	23	72
	21.80	42.30	22.60	3.20	10.10
31.東北福祉大学の教員による講義を受けて興味や魅力を感じた(模擬講義、出前講義、高大連携授業、公開講座など)	83	170	166	33	260
	11.70	23.90	23.30	4.60	36.50
32.本学説明会、進学相談会に参加して興味や魅力を感じた	130	186	141	22	233
	18.30	26.10	19.80	3.10	32.70
33.「With You」などのパンフレットを見て興味や魅力を感じた	226	299	100	15	72
	31.70	42.00	14.00	2.10	10.10
34.オープンキャンパスに参加して興味や魅力を感じた	218	178	75	23	218
	30.60	25.00	10.50	3.20	30.60

表2-2 入学前の重視事項、記述統計

項目	表記	平均値	標準偏差	度数
1.親に勧められた	親	2.67	0.84	506
2.高校または予備校の先生に勧められた	先生	2.62	0.85	447
3.親と高校の先生以外の知人に勧められた	知人	2.42	0.83	384
4.学生生活を楽しむことができそうと思った	学生生活	3.26	0.73	666
5.大卒の学歴を得たいと考え、東北福祉大学では得られると思った	学歴	3.05	0.80	659
6.希望する専門的資格・免許等を取得することができると思った	資格免許	3.62	0.65	697
7.多くの資格・免許等を取得できると思った	多くの資格	3.31	0.77	677
8.東北にある大学で、親しみや安心感があったと思った	東北	3.16	0.77	657
9.「社の都」「学都」といわれる仙台にあり、その中でも閑静な環境で交通アクセスもよく、立地環境がよいと思った	仙台	2.76	0.86	618
10.自宅から通学でき、通学の利便性がよいと思った	自宅	2.81	0.99	496
11.経済的支援(授業料減免、奨学金制度など)が充実していると思った	経済支援	2.41	0.84	543
12.学費がほぼ平均の額で許容範囲と思った	学費	2.60	0.84	564
13.卒業生の就職率や就職先がよかった	就職	3.20	0.76	669
14.東北福祉大学の付属施設が充実していると思った	施設	2.96	0.84	641
15.東北福祉大学で学ぶ内容に興味があった	学ぶ内容	3.37	0.69	679
16.東北福祉大学の研究に魅力を感じた	研究	2.56	0.78	622
17.東北福祉大学の教育に魅力を感じた	教育	2.94	0.78	654
18.東北福祉大学の社会貢献・地域貢献の活動(ボランティア活動を含む)に魅力を感じた	社会貢献	3.09	0.80	663
19.有名人・著名人などが出ている大学に魅力を感じた	著名人	2.10	0.80	549
20.東北福祉大学の留学や海外研修・海外インターンシップ・海外ボランティア活動、国際交流に魅力を感じた	国際交流	2.13	0.79	551
21.東北福祉大学の学生支援・学生サービスが充実していると思った	学生支援	2.71	0.80	637
22.東北福祉大学の部・サークルに魅力を感じた	部活動	2.70	0.89	625
23.卒業生が仕事で活躍している大学に魅力を感じた	卒業生活躍	2.70	0.82	623
24.東北福祉大学のキャンパス・景観に魅力を感じた	キャンパス	2.77	0.82	631
25.東北福祉大学の規模(学生数やキャンパスの広さ等)が学ぶのにちょうどよいと思った	大学規模	2.58	0.82	614
26.東北福祉大学は自分の志や能力を生かせる大学だと思った	活かせる	3.07	0.77	663
27.受験の際に入試科目や入試形態が自分に合っていると思った	入試	2.99	0.86	657
28.東北福祉大学の受験生向けサイト「With You +」を見て興味や魅力を感じた	受験生向けサイト	3.08	0.82	645
29.東北福祉大学の学科のサイトを見て興味や魅力を感じた	学科サイト	3.06	0.79	649
30.東北福祉大学の全学のサイトを見て興味や魅力を感じた	全学サイト	2.92	0.79	640
31.東北福祉大学の教員による講義を受けて興味や魅力を感じた(模擬講義、出前講義、高大連携授業、公開講座など)	出前講義	2.67	0.86	452
32.本学説明会、進学相談会に参加して興味や魅力を感じた	説明会	2.89	0.86	479
33.「With You」などのパンフレットを見て興味や魅力を感じた	With You	3.15	0.76	640
34.オープンキャンパスに参加して興味や魅力を感じた	OC	3.20	0.86	494

回答形式:とても重要だった(4)～まったく重要ではなかった(1)の4件法

重視度の高い順に項目を並べてまとめたのが図 1-1 である。また、項目を内容別に整理し、さらに重視度の高さで整理したものが図 1-2 である。



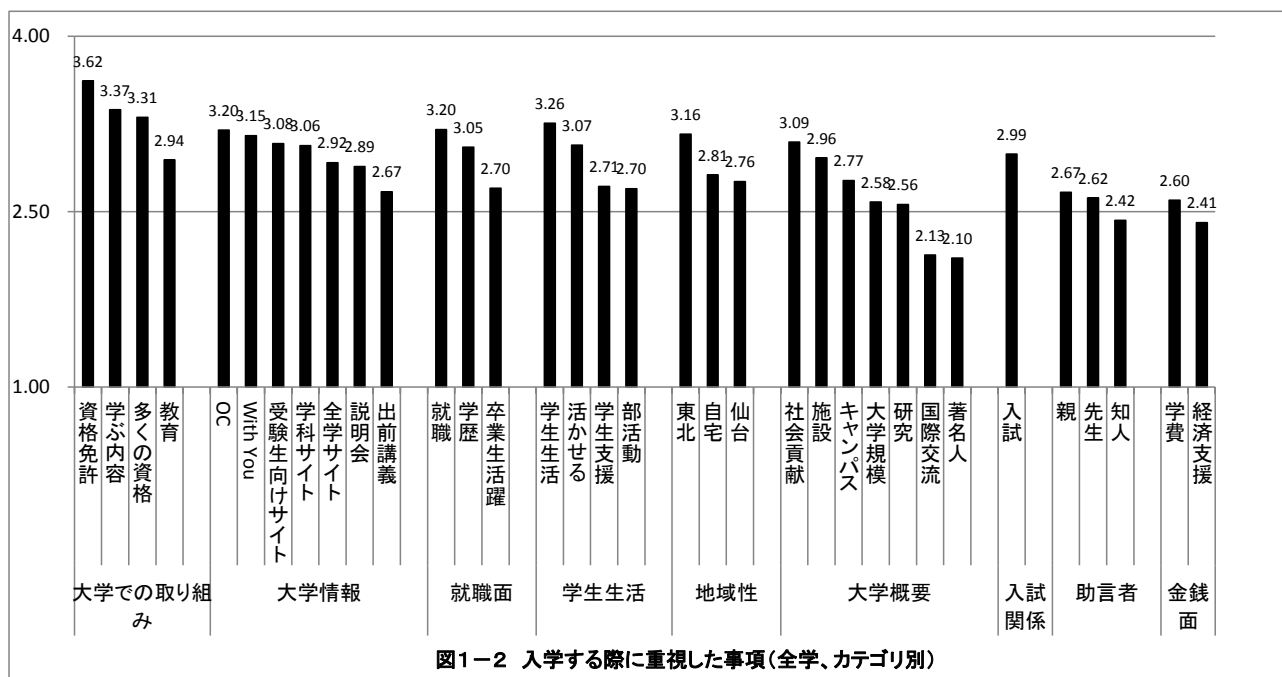


図1-2 入学する際に重視した事項(全学、カテゴリ別)

これらより、特に入学前の検討段階で特に重視されていたのは、「大学での取り組み」における「資格、教育内容」であり、次いで大学情報における「オープンキャンパス、With You(パンフレット)、受験生向けサイト、学科サイト」、「地域性」における「東北にある大学である事」、「大学概要」における「社会貢献」、「就職」における「卒業生の就職率、大学卒という学歴」であることが示された。一方で「助言者」における「知人」、「金銭面」における「経済的支援」、大学概要における「交際交流、著名人の存在」は重視されていないことが明らかとなった。これらの特徴は平成25年度、26年度入学者とほぼ同様であった。

3. 学部・学科志望順位

大学と学科の志望順位を図2-1に示す。大学の志望順位では5割程度が第1志望であることが示された。ただし、「第3志望以下」及び「学部へのこだわりがなかった」者を併せると2割程度にのぼることも同時に示された。学科の志望順位では第1志望が8割であり、第1・第2志望を併せると9割を超えることが示された。これらの特徴は平成25年度、26年度入学者とほぼ同様であった。

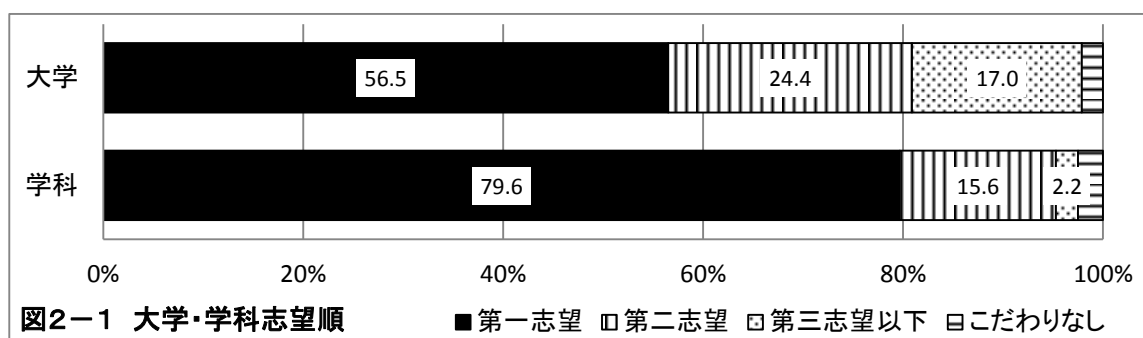


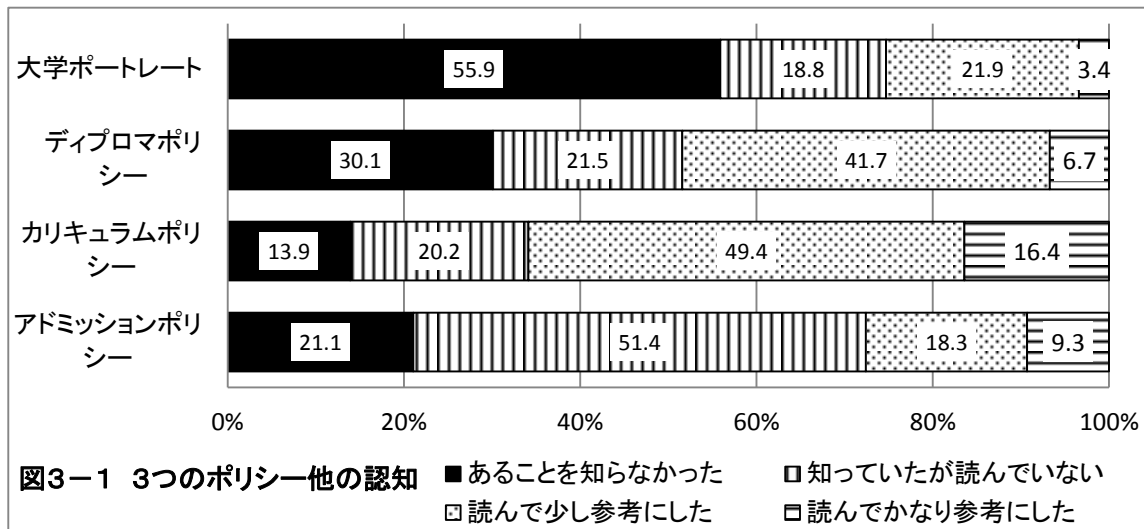
図2-1 大学・学科志望順位

■ 第一志望 □ 第二志望 ▨ 第三志望以下 □ こだわりなし

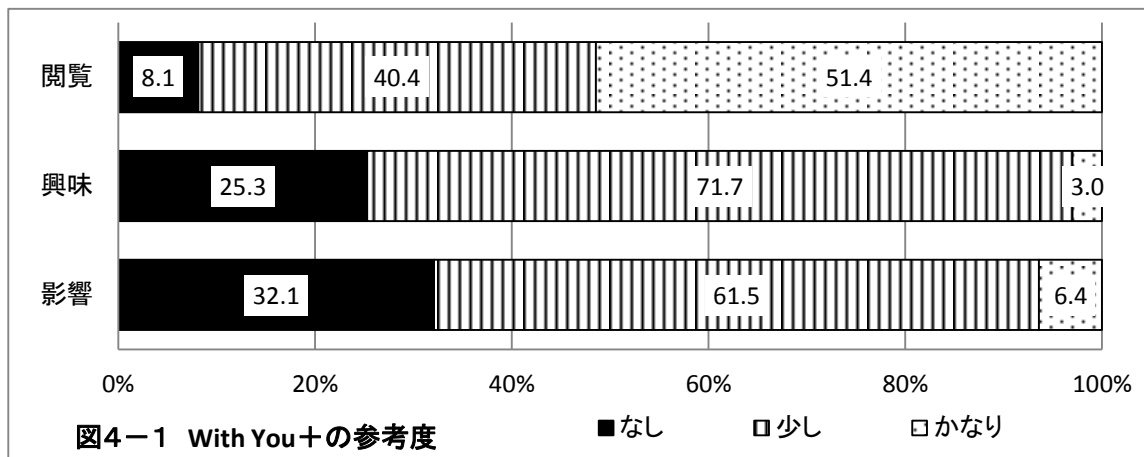
4. 大学・学科情報の参考度

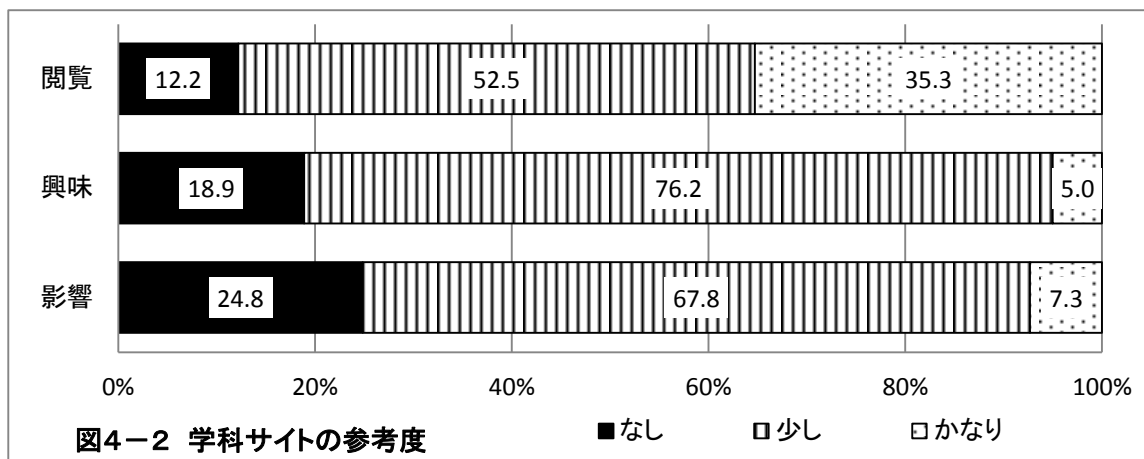
本学の3つのポリシーと大学ポートレート掲載情報の参考度についての図3-1に示す。大学ポートレートについては結果的に「少しでも参考にした(少し参考+かなり参考)」者は2割強にとどまることが明らかとなった。3つのポリシーについて「少しでも参考にした者」はカリキュラムポリシー

で7割弱、ディプロマポリシーで5割、アドミッションポリシーで3割となり、入学後のカリキュラムがどのようなものであるかということには強い関心を見せるものの、どのようなものが入学できるかということにはあまり関心が払われないことが明らかとなった。



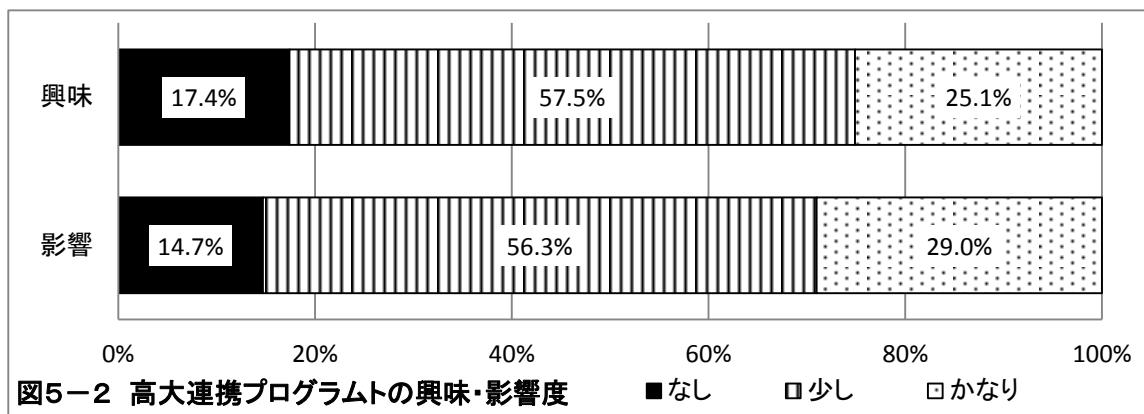
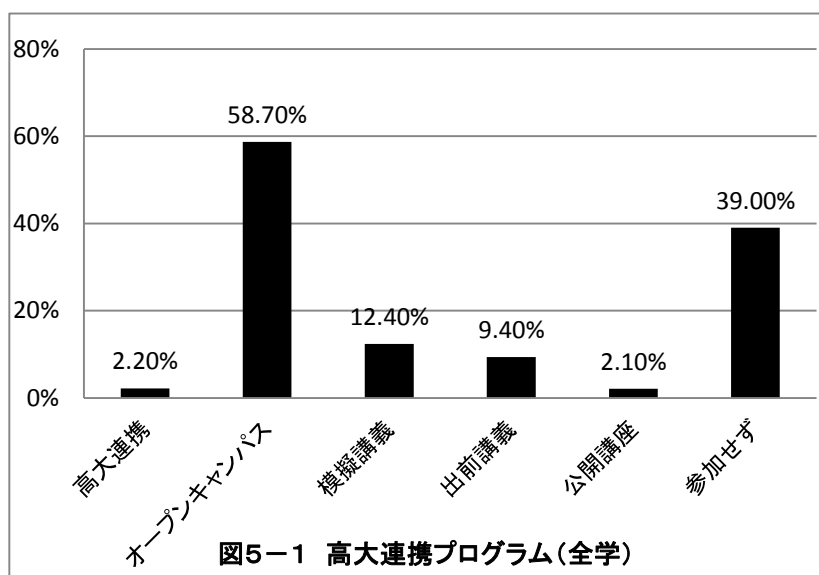
受験生向けサイト「With You+」の参考度について図4-1に、学科サイトの参考度を図4-2に示した。とめた。なお、「興味」「影響」の項は「閲覧」の項目で「見ていない」と回答した者を除いて集計している。2つのグラフとも同様の傾向を示し、ウェブサイトを見てない者は1割程度以下にとどまることが明らかとなり、半数程度がかなりよく見ていたことが明らかとなった。興味度については、回答の大半は「少し興味をもった」という程度であることが示された。影響度についても興味度と同様であり、特に「影響を受けなかった」と回答した者が3割程度であることが示された。学科サイトに対するこれらの傾向は平成25年度、26年度入学者とほぼ同様であった。





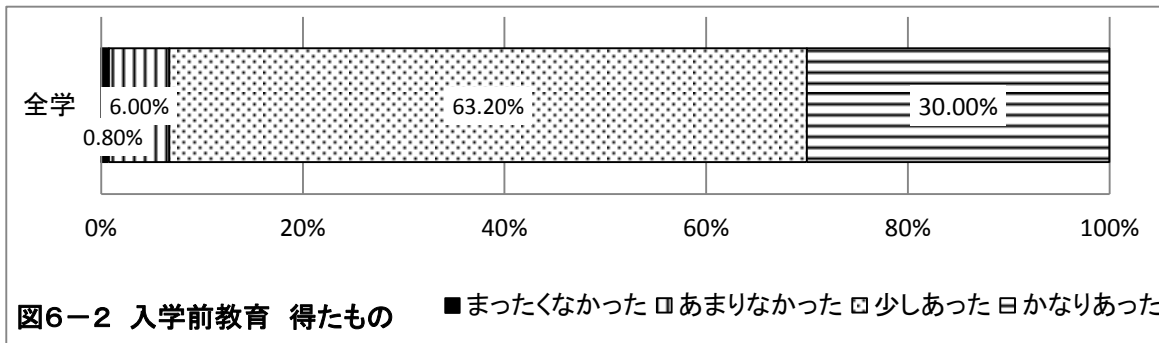
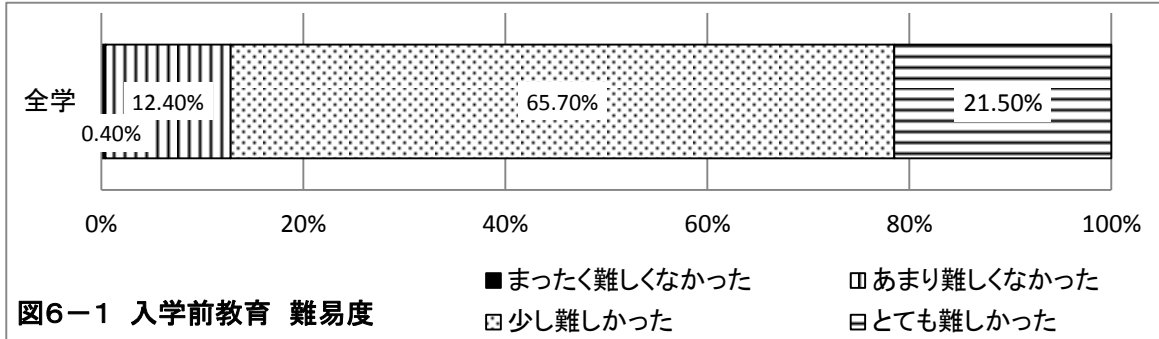
5. 高大連携プログラム

高校時に体験した高大連携プログラムの結果を図 5-1 にまとめた(複数回答、数値は%)。結果、まったくどのプログラムも経験していない者が4割程度いることが示された。未経験の者を除き、プログラムの興味度・影響度をまとめたのが図 5-2 である。興味・影響とも同傾向にあり、プログラムに対して興味を持たず影響を受けなかったのは2割弱にとどまることが示された。



6. 入学前教育

AO入試と推薦入試の合格者に対してお子様得た入学前教育に関する調査項目の結果を図6-1、6-2、図6-3にまとめた。図6-1は難易度についてである。「難しくない」という回答は1割強にとどまった。また、入学前教育を通して得たものの有無については(図5-2)、得たものがないという回答はわずかであった。



入学前教育の長所及び短所についての評価を図7-3にまとめた。なお、調査に用いられた項目は表3に示した。これより、「心構えの形成」を中心に「学習意欲の向上、考えることの大切さ」といった大学での学修への動機づけの側面が長所として評価されていることが明らかとなった。これは図5-2で示された「入学前教育で得たもの」の具体的な内容を示すものと思われる。反面、大学での学びへの不安も喚起されたことも明らかとなった。図5-1において課題が「難しかった」という評価が大半であったこと、長所において「心構えの形成」が最も高く評価されたことと併せて考えると、高校段階までとは異なる学修の予告的な役割を入学前教育が果たしたと解釈できるだろう。

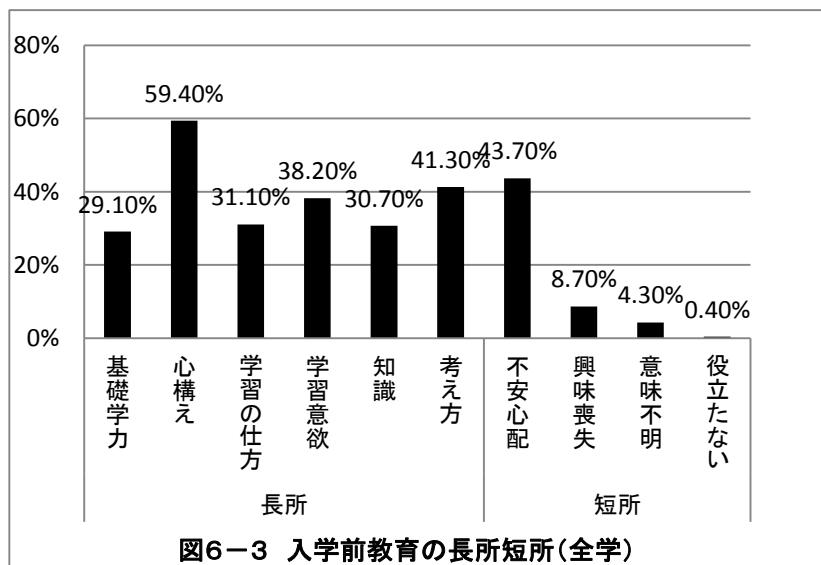


表3 入学前教育の長所・短所の調査項目

	項目内容	表記
長所	1.基礎学力が高まった	基礎学力
	2.大学で学ぶ心構えを知ることができた	心構え
	3.大学での学習の仕方を学ぶことができた	学習の仕方
	4.大学での学習への意欲や期待が高まった	学習意欲
	5.教養や専門についての知識・理解を深めることができた	知識
	6.多角的にあるいは深く考えることの大切さを知ることができた	考え方
短所	7.大学での学習についていけるか、不安や心配になった	不安心配
	8.大学での学習への興味や意欲が薄れた	興味喪失
	9.何のために取り組むのか、よくわからなかった	意味不明
	10.役に立たなかった	役に立たない

7. 入学後の学業に対する不安について

入学後の学業面での不安について図7-1にまとめた。なお回答は表4に示す7項目に対する複数回答である。これより、特に「予習復習の仕方」と「ノートを取り方」について、半数近くの者が不安を抱えていることが明らかとなった。これら全体的な傾向は平成25年度入学者、26年度入学者とほぼ同様であった。

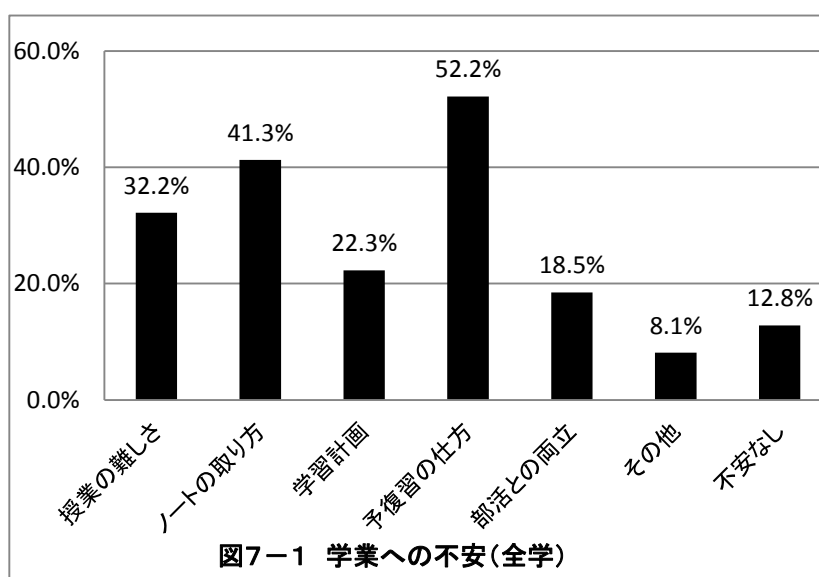


表4 入学後の学業不安の調査項目

項目内容	表記
1.授業の内容が難しいことやペースについていけないこと	授業の難しさ
2.授業でのノートのとり方がよくわからないこと	ノートを取り方
3.学習計画や履修計画の立て方がよくわからないこと	学習計画
4.授業の予習や復習の仕方がよくわからないこと	予復習の仕方
5.部活動・サークルと学業の両立が大変なこと	部活との両立
6.その他	その他
7.学習面で現在不安に感じていることはない	不安なし

8. 入学後の生活面での不安について

入学後の現在の生活面での不安について図8-1にまとめた。なお回答は表5に示す10項目に対する複数回答である。これより、今年度から「生活面での不安」に新規項目として追加した「将来・進路に関する不安」が最も高い不安として示された。次いで「経済面、バイトと学業の両立」が挙げら

れた。「人間関係」に関する不安は過年度調査においては上記項目よりも高い不安が示された項目(3割強程度)であったが、相対的に低く示される結果となった。

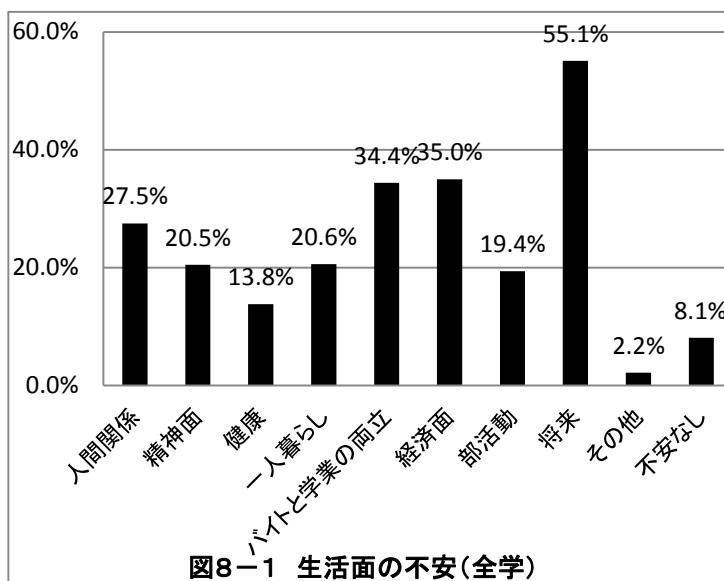


表5 入学後の生活面での不安の調査項目

項目内容	表記
1.友人などの人間関係	人間関係
2.精神的なこと(意欲が湧かない、気持ちが沈むなど)	精神面
3.健康上的なこと(体調不良、病気、障害など)	健康
4.一人暮らしのこと(生活のリズムづくり、食事、防犯など)	一人暮らし
5.アルバイトと学業の両立	バイトと学業の両立
6.経済的なこと(授業料の納入、生活費、家計状況など)	経済面
7.部活動やサークル活動のこと	部活動
8.進路・将来のこと	将来
9.その他	その他
10.生活面で現在不安に感じていることはない	不安なし

9. 卒業後に希望する進路について

卒業後に希望する進路について図9-1にまとめた。なお回答は表6に示す7項目に対する複数回答である。「専門職」の希望が最も多いことが全学的な傾向であることが明らかとなっており、次いで、「教員公務員」「民間企業」となっていた。また、「未定」という者がおよそ1割程度いることも明らかとなった。これら全体的な傾向は平成25年度入学者、26年度入学者と同様であった。

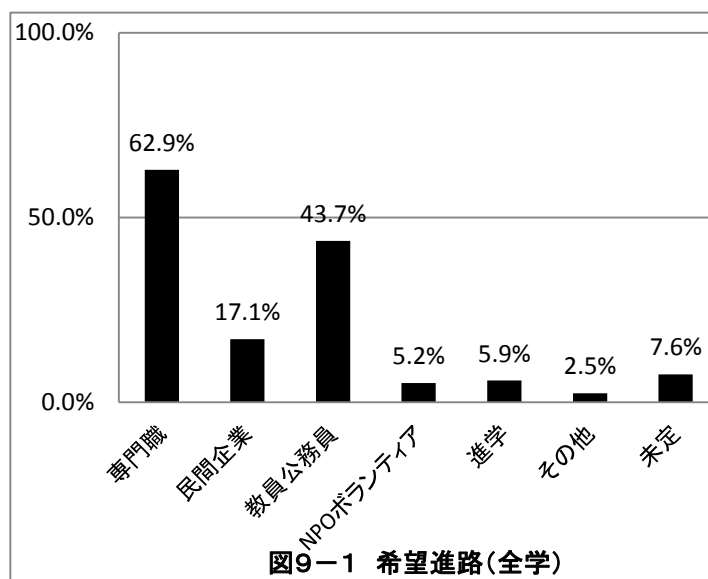


表6 希望する進路の調査項目

項目内容	表記
1.取得した資格を生かして専門職として活躍したい	専門職
2.各種の民間企業で活躍したい	民間企業
3.教員や公務員として活躍したい	教員公務員
4.国内外のNPOやボランティアで活躍したい	NPOボランティア
5.進学(他大学、大学院、専門学校等)	進学
6.その他(自営業、起業、スポーツ選手、音楽家など)	その他
7.どんな職業につきたいのかよくわからない、まだ考えていない	未定

10. 学内での相談相手について

学内の相談相手について図 9-1 にまとめた。なお回答は表 7 に示す 10 項目に対する複数回答である。最も相談相手として選択されているのは「友人」であり、次いで「先輩」「アカデミックアドバイザー(リエゾンゼミ I の担任)」の順となっていた。また、「学内に相談相手がいない」と答えた者と「誰に相談していいのかわからない」という回答を併せて「学内で相談できない、学内で誰かに相談していない」とまとめると、およそ 1 割となることも明らかとなった。これらの傾向は平成 26 年度入学者と同様の傾向を示していた。

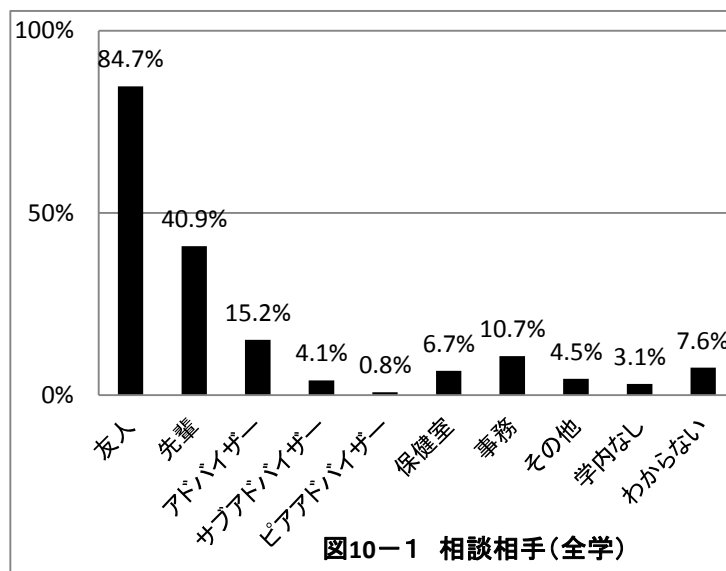


表7 学内の相談相手の調査項目

項目内容	表記
1.友人	友人
2.部・サークルの先輩	先輩
3.アカデミックアドバイザー(リエゾンⅠの主担任)	アドバイザー
4.アカデミックサブアドバイザー(リエゾンⅠの副担任)	サブアドバイザー
5.ピアアドバイザー(リエゾンゼミⅠの先輩ピアメンター)	ピアアドバイザー
6.保健室・ウェルネス支援室・学生相談室	保健室
7.事務窓口(教務課、学生生活支援課など)	事務
8.その他	その他
9.学内には特に相談したい人がいない	学内なし
10.誰に相談していいのかよくわからない	わからない

11. 基本属性と不安・相談相手との関連

学業不安及び生活不安の高さと関連を示した項目を表 8-1 から表 8-4 にまとめた。表 8-1 ではこれら不安と基本属性の関連が示されている。学業不安においては、入試形態において、AO・推薦入試入学者が他入試入学者よりも授業のむずかしさに対して不安を抱えていることが示された。これは過年度と同様の傾向であった。また自宅ではなくアパート等に住む学生が健康面及び経済面の不安を抱き、経済面での不安は奨学金利用者も同様であることが示された。

表8-1 基本属性と学業不安、生活不安との関連

		性別	入試形態	居住形態	奨学金
学業不安	授業の難しさ		一般、センター<AO、推薦		
	ノートの取り方				
	学習計画	男性<女性			
	予復習の仕方	男性<女性			
	部活との両立		センター<AO		
	その他				
生活不安	人間関係				
	精神面				
	健康			自宅<自宅以外	
	一人暮らし				
	バイトと学業の両立			自宅<自宅以外	なし<あり
	経済面			自宅<自宅以外	なし<あり
	部活動				
	将来				
その他					

表 8-2 は部活動等の活動と学業不安・生活不安の関連をまとめた。ボランティア活動をしているかどうかと不安の高さには関係は示されなかった。諸活動と学業との両立の問題について、体育会では「体育会に加入している」者が両立に不安をもち、サークル及びアルバイトについては「加入していない、現時点で行っていない」者が両立に不安をもつという対比的な結果となった。後者については、不安を感じているからこそやってみようとは思っていても実行に移せないということも考えられよう。

表8-2 諸活動と学業不安、生活不安との関連

		体育会	文化会	サークル	アルバイト	ボランティア活動
学業不安	授業の難しさ					
	ノートの取り方					
	学習計画	加入している<していない				
	予復習の仕方					
	部活との両立	していない<加入している		加入している<していない		
	その他					
生活不安	人間関係		していない<加入している			
	精神面					
	健康				している<していない	
	一人暮らし				している<これから	
	バイトと学業の両立	加入している<していない			していない<これから、している	
	経済面					
	部活動					
	将来					
	その他					

表 8-3 は大学・学科の志望順、高大連携プログラムへの参加の有無、AO・推薦入試合格者に対して行われた入学前教育に対する難易度評定と学業不安・生活不安の関係をまとめた。まず大学志望順位では、第一志望とした者が第二志望以下のものよりも「授業の難しさ、予復習の仕方」に対する不安を抱いていたことが明らかとなった。このことは、自らが望んだ進路を達成したことから生まれる学習への意欲・動機づけの高さが不安を言う形で現れたとも解釈できよう。一方で、学科志望順では第二志望の者のほうが今後の進路・将来への不安をもっていることが明らかとなった。希望したことと異なる学習をすることが今後の展望を形成させづらくしていることが伺えた。高大連携プログラムへの参加については、いずれかのプログラムに一度でも参加した者のほうが特に学業不安をもつことが明らかとなった。このことについては、大学教員が示す「大学での学び」の説明によって「簡単なものではない」という構えが形成された可能性が考えられるだろう。

表8-3 入学前の大学との関わりと学業不安、生活不安との関連

		大学の志望順	学科の志望順	高大連携の参加	入学前教育の難度
学業不安	授業の難しさ	第二志望以下<第一志望		参加していない<参加した	
	ノートの取り方				
	学習計画				
	予復習の仕方	第二志望以下<第一志望		参加していない<参加した	あまり難しくない<少し・かなり難しい
	部活との両立				
	その他	第一志望<第二志望以下		参加した<参加していない	
生活不安	人間関係				
	精神面				
	健康				
	一人暮らし				
	バイトと学業の両立				
	経済面				
	部活動				
	将来		第一志望<第二志望以下	参加していない<参加した	
	その他				

表 8-4 では、大学が高校生に対して示した 3 つのポリシーの参照度と情報提供メディアの閲覧度と不安の関連をまとめた。特に「今後の進路・将来に対する不安」については、ポリシーを参考にする程度の高い者と With You+(受験生向けサイト)の閲覧度が高い者のほうが高いことが示された。これは今後に対する不安があるからこそ大学の全体的な情報を多く求めたということも考えられるのではないか。一方で、人間関係や精神面での不安については、大学生としての生活のあり方を事前には確

認しようとはしなかった者のほうが抱えやすい不安であることが示されたと言えるだろう。

表8-4 大学情報の入手と学業不安、生活不安との関連

		アドミッションポリシー	カリキュラムポリシー	ディプロマポリシー	With You+	学科webサイト	大学ポータル
学業不安	授業の難しさ				見えていない<少し・かなり参考		
	ノートの取り方						
	学習計画						
	予復習の仕方						
	部活との両立 その他						
生活不安	人間関係		少し・かなり参考<読んでいない	少し・かなり参考<読んでいない			少し・かなり<見えていない
	精神面				少し・かなり参考<見えていない		少し・かなり<見えていない
	健康						
	一人暮らし					見えていない<少し・かなり見た	
	バイトと学業の両立						
	経済面						
	部活動			少し・かなり参考<読んでいない			
	将来	読んでいない<少し・かなり参考		読んでいない<少し・かなり参考	見えていない<少し・かなり参考		
その他					見えていない<少し・かなり見た		

12. 学内相談相手と不安との関連について

学内の相談相手の有無と関連を示した基本属性について表 9-1 と表 9-2 に示した。表 9-1 に示した性別から奨学金までの 4 項目では相談相手の有無と関連を示したものはなかった。

表9-1 基本属性と相談相手との関連

		性別	入試形態	居住形態	奨学金
相談相手	友人				
	先輩				
	アドバイザー				
	サブアドバイザー				
	ピアアドバイザー				
	保健室				
	事務				
	その他				
	学内なし				
	わからない				

表 9-2 より、体育会及び文化会に所属することで「先輩」という相談相手が得られていることと、サークルに所属することで「友人」が得られていること、ボランティア活動に参加することで教職員との関係が生まれていることが明らかとなった。逆に「学内で誰に相談すればいいかわからない」と答えたものは、体育会及びサークルに加入していない者が多いことが明らかとなった。

表9-2 諸活動と相談相手との関連

		体育会	文化会	サークル	アルバイト	ボランティア活動
相談相手	友人			していない<加入している		
	先輩	していない<加入している	していない<加入している			
	アドバイザー					
	サブアドバイザー					しない<する
	ピアアドバイザー					
	保健室					
	事務					しない<する
	その他					している、これから<していない
	学内なし			加入している<していない		
	わからない	加入している<していない		加入している<していない		

学業不安、生活不安と関連がみられた相談相手は表 9-3 に示す通りであった。この結果からは、「友人」と「先輩」では相談する内容が異なることが示された。特に先輩に相談する内容は経済的な面や

諸活動との両立などであり、1年生が今後の見通しを立てる上で先輩の経験を頼りにしていることが伺えた。

表9-3 相談相手と学業不安、生活不安との関連

		友人	先輩	大学関係者*
学業不安	授業の難しさ			
	ノートの取り方			
	学習計画	相談できる<できない		
	予復習の仕方			
	部活との両立		相談できる<できない	
	その他			
	不安なし			
生活不安	人間関係	相談できる<できない		
	精神面	相談できる<できない		
	健康			
	一人暮らし			
	バイトと学業の両立		相談できる<できない	
	経済面		相談できる<できない	
	部活動		相談できる<できない	
	将来		相談できる<できない	
	その他			
	不安なし			

*アドバイザー・サブアドバイザー・ピアメンター・保健室・事務のうち1つでも選択

13. 希望進路と不安の関連

表 10-1 では、大学が高校生に対して示した 3 つのポリシーの参照度と情報提供メディアの閲覧度と希望進路との関連をまとめた。「資格をいかして専門職として働く」ことを希望するものは、大学・学科とも第一志望であり、大学ポータルサイトや高大連携プログラムによって大学情報を積極的に入手していることが伺えた。一方で、「教員・公務員」については専門職とは反対の結果となっているが、特に「公務員」という進路希望が特定の学科に限定されず多くの学部学科から目指すことができることがその理由として考えられるだろう。

表10-1 大学情報の入手先と希望進路の関連

	大学志望順	学科志望順	With You+	学科サイト	大学ポータルサイト	高大連携の参加
希望進路	専門職	第二志望以下<第一志望	第二志望以下<第一志望		見えない<少し、かなり見た	参加せず<参加
	民間企業				見えない<少し、かなり見た	
	教員公務員	第一志望<第二志望以下	第一志望<第二志望以下	見えない<少し、かなり見た		参加<参加せず
	NPOボランティア					
	進学	第一志望<第二志望以下				参加<参加せず
	その他			見えない<少し、かなり見た		
未定						

表 10-2 では希望進路と学業不安・生活不安の関連をまとめた。専門職及び教員・公務員を希望するものが「授業の難しさ」に対する不安を抱えていることが明らかとなった。また、進路を民間企業と答えた者と「未定」と答えた者の不安の傾向が類似していることも明らかとなった。民間企業という希望での「今後の見通し、具体性、達成するための手続き」が専門職あるいは教員公務員とは異なり不明瞭であることがこの類似性を生み出したとも考えられるだろう。

表10-2 希望進路と学業不安、生活不安との関連

		専門職	民間企業	教員公務員	NPO	進学	その他	未定
学業不安	授業の難しさ	志望せず<志望		志望<志望せず				
	ノートの取り方							
	学習計画							
	予復習の仕方							
	部活との両立						志望せず<志望	
	その他							
生活不安	不安なし							
	人間関係		志望せず<志望					あてはまらない<あてはまる
	精神面		志望せず<志望					あてはまらない<あてはまる
	健康							
	一人暮らし			志望せず<志望				
	バイトと学業の両立							
	経済面				志望せず<志望		志望せず<志望	
	部活動							
	将来		志望せず<志望		志望せず<志望			あてはまらない<あてはまる
	その他							
不安なし								

14. 大学情報の参照とオープンキャンパスの参加の関連

表 11-1 にオープンキャンパスへの参加者・不参加者別に3つのポリシーの参考度をまとめた。表中、50%を超える割合が示された部分を太字として強調している。これより、特にオープンキャンパスの参加者は不参加者よりも3つのポリシーのすべてにおいて参考にしたことが明らかとなった。表 11-2 は受験生向けサイト With You+とオープンキャンパスへの参加の関係を示した。オープンキャンパス参加者は不参加者よりもよく閲覧し、興味を持ち、影響を受けていることが明らかとなった。表 11-3 は学科サイトとオープンキャンパスへの参加の関係を示した。先と同様に、オープンキャンパス参加者は不参加者よりも学科サイトをよく閲覧し、興味を持ち、影響を受けていることが明らかとなった。

表11-1 オープンキャンパスへの参加と3つのポリシーの閲覧度の関係

		オープンキャンパス				X ² 検定結果
		不参加		参加		
		人数	%	人数	%	
アドミッション ポリシー	あることを知らなかった	43	58.90%	30	41.10%	X ² (3)=60.53, p<.001
	知っていたが読んでいない	92	56.40%	71	43.60%	
	読んで少し参考にした	141	39.80%	213	60.20%	
	読んでかなり参考にした	18	14.80%	104	85.20%	
カリキュラム ポリシー	あることを知らなかった	56	56.60%	43	43.40%	X ² (3)=50.51, p<.001
	知っていたが読んでいない	80	55.60%	64	44.40%	
	読んで少し参考にした	138	39.20%	214	60.80%	
	読んでかなり参考にした	20	17.10%	97	82.90%	
ディプロマ ポリシー	あることを知らなかった	110	51.40%	104	48.60%	X ² (3)=31.28, p<.001
	知っていたが読んでいない	76	49.70%	77	50.30%	
	読んで少し参考にした	99	33.30%	198	66.70%	
	読んでかなり参考にした	9	18.80%	39	81.30%	

表11-2 オープンキャンパスへの参加とWith You+の関係

	オープンキャンパス				X ² 検定結果	
	不参加		参加			
	人数	%	人数	%		
With You+閲覧	見ていない	47	81.00%	11	19.00%	X ² (2)=82.56, p<.001
	少し見た	149	51.70%	139	48.30%	
	かなり見た	98	26.80%	268	73.20%	
With You+興味	興味なし	33	68.80%	15	31.30%	X ² (2)=46.65, p<.001
	少し興味	174	41.50%	245	58.50%	
	かなり興味	37	20.10%	147	79.90%	
With You+影響	影響なし	45	58.40%	32	41.60%	X ² (2)=29.83, p<.001
	少し影響	142	40.80%	206	59.20%	
	かなり影響	58	25.60%	169	74.40%	

表11-3 オープンキャンパスへの参加と学科サイトの関係

	オープンキャンパス				X ² 検定結果	
	不参加		参加			
	人数	%	人数	%		
学科サイト閲覧	見ていない	52	59.80%	35	40.20%	X ² (2)=49.92, p<.001
	少し見た	181	48.40%	193	51.60%	
	かなり見た	61	24.30%	190	75.70%	
学科サイト興味	興味なし	22	62.90%	13	37.10%	X ² (2)=23.63, p<.001
	少し興味	179	41.50%	252	58.50%	
	かなり興味	38	24.40%	118	75.60%	
学科サイト影響	影響なし	39	59.10%	27	40.90%	X ² (2)=23.91, p<.001
	少し影響	155	40.60%	227	59.40%	
	かなり影響	45	26.00%	128	74.00%	